

宮城県母親大会連絡会ニュース

事務局：〒981-0933

仙台市青葉区

柏木 1-2-45

宮城県教職員組合内

☎FAX:022-219-2693



NO.7

2020.12.14

県母連2021年度総会 & 第60回宮城県母親大会 第1回実行委員会

2021年3月7日(日) 13時~16時
於・仙台市青葉区中央市民センター

2020.12.8 平和を守る母親☆女性たちの全国連鎖行動 ～ゆるぎない平和を子どもたちに～ 核兵器禁止条約は、来年1月に発効!

太平洋戦争開戦から79年目となる12月8日、「平和を守る母親・女性たちの全国連鎖行動」が県内各地でとりくまれました。

仙台市錦町公園で行われたミニ集會には、75名が参加し、会場には平和への思いが込められたタペストリーやプラスターなどが並んでアピール。うたごえ協議会のみなさんのリードで「青い空は」や「約束のうた」を歌い、「二度と戦争をさせない」「平和な未来を子どもたちに」の思いをひとつにして、一番町商店街をピースウォークしました。行進後、平和ビル前でリレートークと赤紙配布の宣伝行動、平和のための署名活動も行いました。

テレビ局2社が夕方のニュースで報道、会長へのインタビューや赤紙が大きく映し出され、翌日の河北新報にも報道されました。TVを見たという「遺族会」の方から「不戦の誓い」の運動の資料にしたいとのfaxも届きました。高校生が「ありがとうございます。12・8のこと知らなかったです。」と受け取っていったうれしい報告もありました。この日の行動には、県内21か所200名が参加し、赤紙5300枚を配布、署名87筆、募金3000円が集約されました。全国連鎖行動として、コロナ禍の中でも諦めず工夫し、平和を守る声を大きく響かせました。



錦町公園を出発し、明るく元気にピースウォーク



ミニ集會にずらりと並ぶタペストリー。うたごえ協議会の皆さんと。



主催者挨拶・佐藤会長

コロナ禍のもと昨年より40%も増えた自殺者、その中で女性の自死率は82%も増加しています。医療支援・コロナ対策など命を守る施策にお金をかけるべきです。沖縄への辺野古新基地建設や馬毛島への米軍施設建設、女川原発再稼働の地元同意など、国策ありきで民意を無視した強行や学術会議会員の任命拒否問題など、民主主義破壊の強権政治、軍事費が7年連続5兆円を突破し、敵基地攻撃能力保有の戦力増強など、菅政権は「戦争する国づくり」をひたすら進めています。戦争ほど悲惨なものはなく、環境を破壊するものもなく、人生を失くすものはありません。戦争は絶対起こさないことを誓い、平和な未来を子どもたちに手渡しましょう！核兵器禁止条約の批准国は、50カ国に達し、来年1月に発効します。日本政府に、核兵器禁止条約への署名・批准を強く求めていきましょう。



連帯の挨拶・遠藤恵子さん
女の平和ピースアクション

女の平和ピースアクション宮城世話人の遠藤恵子さんが連帯の挨拶をして下さいました。遠藤さんは、女川原発について、村井知事の態度は全くの民意無視であり、地元同意は得られたと偽の数字で再稼働を容認したことに本当に怒っている、しかし、実際の稼働にはまだ2年あり、同意したとはいえ、まだまだ食い止めるチャンスはある、と話されました。学術会議会員任命拒否の問題では、国がお金を出している中身は事務局費の方が大半で、学術会議の活動内容に使えるのは半分以下だ、と内実を話されました。学術会議への政権介入は菅首相になって初めて。本来、学者や研究者からの政策批判や意見は歓迎すべきことなのに、任命拒否という人事問題にすり替えて、物言わぬようにして終わらせようとしています。力を合わせて、何としても阻止していきましょう、と力強く訴えました。

各分野からの「ルーク」...菅政権の強権政治への怒りと運動の報告 12・8



民主青年同盟・渡辺さん

コロナ禍の中で民青は食料支援で 100 名の学生に利用され喜ばれました。学生も若者も今生活が苦しいのに、個人の責任にされていますが、みんなで声を上げれば政治は変えられます。新しい政治に転換させていきましょう。



市民連合みやぎ・須藤さん

学術会議任命の問題は、戦争に直結しているといえます。戦争に協力した反省のもと、二度と戦争に協力する研究はしないとして誕生した学術会議です。学者間の問題ではなく平和と民主主義の問題、自由と人権が守られているかということです。関心をもってみんなで声をあげていきましょう。



宮城県原水協・川名さん

2017 年に 122 か国の参加により国連で批准された「核兵器禁止条約」の批准国が 50 か国に達して、来年 1 月 22 日には国際法として発効します。喜びでいっぱいです。今後は製造も開発も許されません。確実に世界の核兵器は減っていきます。



宮教組・星さん

教職員組合は、コロナ感染が広がるずっと前から 30 人以下学級の必要性を訴え、運動してきました。教員を増やすことで、きめ細かい指導ができ、配慮の必要な子へ手を差し伸べることができます。自分の思いを発信できる子に育った子が、平和な未来を語り、作っていく力になると思います。



婦人民主クラブ・千葉さん

1995 年に企業献金廃止と引き換えに誕生した政党助成金制度は、思想信条・政治的自己決定権の上で憲法違反の制度です。政策・公約無視の離合集散で助成金の分捕り合戦をしている状態は許せません。コロナ禍で苦しんでいる国民への支援にこそ使うべきです。



新日本婦人の会・石井さん

戦争で犠牲になるのはいつも女性と子どもたちです。この召集令状が来た時、家族はどんな思いで受取ったのか想像してみてください。菅首相は 9 条改訂を視野に様々に動いています。それよりも、唯一の被爆国日本は核兵器禁止条約に早速批准すべきです。



女性ネットみやぎ・本田さん

知事が女川原発再稼働地元同意容認したことは許せません。福島原発事故の原因も究明されず、同じ沸騰水型だというのに、40 年で廃炉の約束を捨ててさらに 20 年間も使い続けようとしています。工事完了までも 2 年あります。あきらめず、粘り強く運動を続けましょう。



県労連女性部・永田さん

労働者の格差をなくす、弱い立場の人間が切り捨てられることをなくすには、根本に平和な社会でなくてはなりません。再び白衣を血で染めないように、戦時中のように天気予報が出せない世の中にしないうために、みんなで平和を守っていきましょう。



日本軍慰安婦問題を解決する会・橋本さん

日本軍が女性たちを連行拉致して性暴力を加えたことは歴史の事実です。何百人もの証言があるのに、日本政府は、2007 年「軍・官憲による強制連行はなかった」とのでたらめな閣議決定をしました。世界中から強く非難されています。戦争につながる動きには敏感になって、声に出していきましょう。



元仙台市議・船山さん

核兵器禁止条約の発効が決まりました。核にも基地にも怯えることのない国を作りたいと、粘り強くとりくんできた世界の人々の運動の力がそこにあると確信しています。今度は、日本政府が批准署名することを求めていきましょう。



川端英子現地実行委員長が来賓挨拶

太白区母親のつどい

11/29 太白区母連総会

総会前に、映画「沖縄」を上映

11 月 29 日、太白区長町南コミュニティセンターで「太白区母親大会連絡会総会」を開催しました。第 1 部は『沖縄 1 部/一坪たりともわたすまい』の映画鑑賞です。「沖縄市長さんにメールを送りながら見ましょう。」の挨拶で始まった映画を 28 人で鑑賞しました。【90 分】土地を取り上げようとする米兵に対して、「1、短気を起こさず 2、肩より手を上げず 3、話し合いは座って 4、礼儀正しく 5、沖縄県民として堂々と意見を言う」という態度を守り、村民みんなで抗議する姿。座り込んで訴える村民に加わって一緒に行動する若者の姿などが映し出されました。「オール沖縄に続く戦い、Ⅱ部も是非見たい」という感想が出されました。映画の後、パワーポイントに初挑戦する高橋

会長から活動報告と方針の提案がありました。会計、役員案も含めて、すべて承認されました。母親運動を支えるための賛同金については予想以上に皆さんから協力をいただいたので、半分を県に届け、残り半分は来年の大会に使わせてもらうことが承認されました。最後に、第 60 回県母親大会の現地実行委員長の川端英子さんから、「いつ収束するかどこまで続かわからないコロナ感染。私たちは希望を捨てずに乗り越えていきましょう。沖縄の問題は日本と世界の平和に繋がること、地道に運動を続けていきましょう。」との励ましと訴えを受けて、総会を終りました。

(太白母連 中田恵子)